

手に負えない言葉

わからない、

翻訳家も知らない、

翻訳家・法政大学名誉教授

金原 瑞人 氏

翻訳というのは「ある言語で表現された文章をほかの言語に移すこと」。そういつてしまえば簡単にきこえるのですが、その一方で、「翻訳家は裏切り者」という言葉もあります。つまり、翻訳されたものはすべて偽物だということです。これはこれでおおいにうなずける言葉でもあります。裏切り者になりたくない翻訳家の話をきいてみてください。

写真 石川真魚

2026/6/7(日) 14:00-16:00 開場13:30

塩尻市市民交流センター（えんぱーく）3階・多目的ホール

定員 / 130人（先着順） 参加費 / 無料

申込み

申込み開始：5月8日(金)

本館総合カウンター、電話（0263-53-3365）
メールのいずれか。
メールの場合は次の内容をお送りください。

- 宛先 tosho@city.shiojiri.lg.jp
件名 「6/7 本の寺子屋申込」
本文 1 参加者全員の氏名(フリガナ)
2 代表者の電話番号
3 お住まいの地区
4 この講演を知ったきっかけ

PROFILE

金原 瑞人（かねはら みずひと）

1954年岡山市生まれ。翻訳家・法政大学名誉教授。訳書は児童書、ヤングアダルト小説、一般書、ノンフィクションなど660点以上。訳書に『青空のむこう』（シアラー／求龍堂）『さよならを待つふたりのために』（グリーン／岩波書店）『国のない男』（ヴォネガット／中央公論新社）『月と六ペンス』（モーム／新潮社）『アメリカ・エアハート空飛ぶ野ネズミの世界一周』（トーベン／ブロンズ新社）など。その他、エッセイ集に『サリンジャーにマティーンを教わった』（潮出版社）『翻訳はめぐる』（春陽堂）『英米文学のわからない言葉』（左右社）、日本の古典の翻案に『雨月物語』（岩崎書店）『仮名手本忠臣蔵』（偕成社）など。HPは<http://www.kanehara.jp/>